

□要請番号 (JL16625B12)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラオ	A101 コミュニティ開発	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・2026/3・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

国務省

2) 配属機関名（日本語）

ガラロン州政府

3) 任地（ガラロン州） JICA事務所の所在地（コロール）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約1.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、バベルダオブ島の北端に位置する人口400人弱の州の州政府。州内には観光名所となっている古代遺跡ストーンモノリスがある。総務部、観光部、公共事業部、公有地局等の部局の他、各種プログラム、首長評議会からなり、地域住民の生計向上、生活改善、健康・福祉の増進等に係る様々な事業を実施している。年間予算は3200万円程で職員数は48名。JICA海外協力隊の受入実績は無いが、州内に拠点を置く環境系NGOにて2025年7月まで生態調査隊員が活動していた他、州内の漁業協同組合に対してJICA草の根技術協力事業による水産関連の協力が行われた実績もあり、JICAの協力に対する地域住民の認知度は高い。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

食料の多くを輸入に頼るパラオでは、特にコロナ以降、食料安全保障の重要性が広く認識されるようになった。パラオでは伝統的にタロイモが主食とされてきたが、ガラロン州は特にタロイモ栽培が盛んな州であり、州政府はその生産をより強化する方針を打ち出している。また、国の農業局がタロイモ加工施設を設立したこと、タロイモを販売して収益を得ることが容易になったことも相まって、その機運が高まっている。州内には2013年に設立された農民組織があり、30戸ほどの農家が参加している。タロイモを中心とした農産物の生産・販売の強化を通じてこれらの農家の生計向上を支援するため、隊員が要請された。その他、地域住民の抱える課題を調査・把握し、新事業に結びつけるための協力も期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 地域農民のタロイモを中心とした農産物の生産・販売を強化し、生計向上を支援する。国やその他機関の農業技術者、生産物の流通・販売関係者等の関係者と現地農民をつなげる等の手段により、地域を活性化するカタリストとしての役割が期待されている。

2. 地域が抱える各種課題について、その解決に向けた具体的な方策を同僚と共に検討し、事業化を支援する。具体的にどのような課題に取り組むかは、着任後配属先との協議により決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンター、コピー機等州政府内の事務機器。州政府建物の中ではwifi利用可。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 州知事(男性 60代)、職員(女性 40代)、その他州政府職員40名程度

活動対象者: 農民組織等、地域NGOの構成メンバーを中心とした地域住民、配属先同僚

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : (大卒) 備考: 同僚とのバランス

[性別] : () 備考:

[経験] : () 備考:

[汎用経験] :

- ・グループ活動や組織運営の経験
- ・営業や販促、商品開発の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (熱帯雨林気候) 気温: (25~35°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (安定)

【特記事項】

住居は配属先が手配するホームステイとなる。

活動は英語で実施するが、現地語学訓練にてパラオ語を学ぶ。

村落部の小さなコミュニティで生活し、地域の人々との濃密なコミュニケーションをとりながらの活動となる。

【類似職種】

- ・野菜栽培
- ・食品加工

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。